

企業版ふるさと納税 令和元年度 寄附・活用状況

東川町では、企業からの寄附（企業版ふるさと納税）を活用し、地域資源を活かした人材育成による地域回帰の仕組みづくりを目的とした様々な事業を実施しています。
令和元年度は、7社から合計1億4,480万円の寄附をいただき、5つの事業に活用しています。

人材育成環境等整備事業（事業費：3,399万6千円）



子どもたちが様々な物事に興味や知識を得る機会を創出し、自立した人材育成を図るための環境整備を実施しました。

- せんとぴゅあⅡの図書環境整備
- 小中学校に図書支援員、学習支援員を配置

▲司書による読み聞かせ

起業化支援事業（事業費：1,417万9千円）

他地域で経験を積んだ方などの地域回帰を促すため、起業化支援を行いました。

○起業化支援…11事業所開設



▲中国茶とおかゆと点心 奥泉

奨学助成事業（事業費：2,135万円）



子どもたちが新たな夢を叶えるために進学し、更なる知識や経験を積むことをお手伝いするため、東川町で学び育ち大学に進学する方には50万円の奨学助成を、町外から東川町内の専門学校に入学する方には寮費の一部助成を行いました。（進学率の向上、人材育成）

- ①東川町から都市部や海外などへ進学する方（25名）
- ②地域外から東川町の専門学校へ進学する方（35名）

環境整備魅力発信事業（事業費：7,010万2千円）

東川町中心市街地の魅力ある景観を創り出すため、せんとぴゅあ屋外に「花の小径」の整備を行いました。

- 「花の小径」整備ほか 2,534万5千円
- せんとぴゅあ利活用イベント、にぎわい創出事業ひがしかわ魅力発信事業補助金（19件）2,475万7千円
- 教育施設（北工学園）環境整備補助金 2,000万円

国際教育推進事業（事業費：1,187万円）

子どもたちの国際感覚を磨くため、姉妹都市などとの相互交流と、英語教育を充実させました。

- 高校生海外派遣事業／カナダ・キャンモア町（4名）、台湾・高雄市（3名）、ラトビア・ルーイエナ町（4名）、ロシア・アニワ市（4名）
- 高校生受入事業／ラトビア・ルーイエナ町より5名、台湾高雄市より6名
- 東川中学校に英語指導員を配置

令和元年度 企業版ふるさと納税 寄附企業名一覧（7社：寄付金額合計1億4,480万円）

- ・(株)ホクリク（東京都）
- ・(株)良品計画（東京都）
- ・大栄産業(株)（愛知県）
- ・(株)アクトギア（新潟県）
- ・サイバートラスト(株)（東京都）
- ・花本建設(株)（旭川市）
- ・(株)伊藤建築コンサルタント（兵庫県）

【問合せ】東川スタイル課 ☎82-2111（701・703）

ひがしかわ株主制度 令和元年度 投資・活用状況

東川町では、ふるさと納税の仕組みを活用し、「寄附者」を「ひがしかわ株主」、「寄附」を「投資」と位置づけ、町を応援いただく「ひがしかわ株主」と共に町の未来を育んでいく取り組みを行っています。

令和元年度のひがしかわ株主からの投資（寄附）受付実績は、**投資株主数のべ18,199人、投資額5億26万円**となりました。いただいた投資から株主優待（返礼品）や事務費などを差し引いた**1億7,525万6千円**を株主基金に積み立て、事業を実施するため**8,262万4千円**を取り崩しました。多くのみなさまから投資をいただいたことで、年度末の基金残高は**2億7,570万円**になりました。

～ひがしかわ株主制度を活用した事業の一つをご紹介します～

●スノーボード竹内智香選手と協働！スノーボードキッズ育成プロジェクト



ソチ五輪銀メダリスト・竹内智香選手が立ち上げたスノーボードの育成組織「&tomoka（アンドトモカ）」の活動を支援しました。

東川町を拠点に、スポーツ活動を通じて、次代を担う子どもたちが仲間との人間的な触れ合いや創造活動ができることを目的に、子どもたちの人材育成や環境整備に必要な経費と、スノーボード人口拡大のための子どもたちを対象とした普及活動等を実施しました。

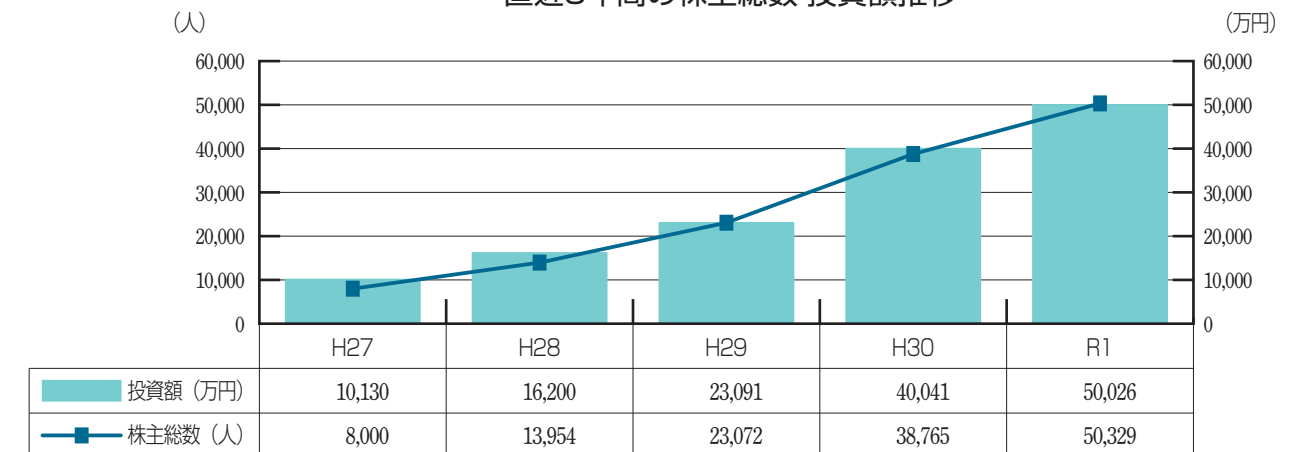
●その他、下記の事業の一部に活用しました。

- ・文化芸術活動周知映像周知活動事業
- ・文化ギャラリー大規模改修事業
- ・高校生国際交流写真フェスティバルの実施
- ・ギャラリーZEN取得事業
- ・家具デザイナーアーカイブス整備事業
- など

～直近5年間の株主総数と投資額の推移～

制度開始の2015（平成27）年度から過去5年間の推移を見ると、投資額は年々増加傾向にあります。また、株主総数も年々増加しており、当初から約6倍となっています。

直近5年間の株主総数・投資額推移



2020（令和2）年度も、ひがしかわ株主やオフィシャルパートナー協定などで町とつながりある企業などのみなさんにご利用いただける滞在施設の拡充や、ギャラリーZENを活用した交流拠点の整備などを進めています。

ひがしかわ株主の皆様からいただいた投資は、今後も東川町の未来のために活用させていただきます。

引き続き、町民の皆様にもご理解とご協力をよろしくお願いいたします。